

# 会報

令和7年12月20日 発行

## 第84号 関東地区整形外科勤務医会

発行者：会長 大江 隆史

発行所：事務局 新井 嘉容

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会

電話 0570-08-1551

FAX 048-256-5703

## 勤労者ロコモ問題

NTT東日本関東病院 院長

大江 隆史

2025年4月に高齢者雇用安定法が改正され、65歳までの雇用確保が完全義務化となった。2023年時点での日本における65歳以上の就業者数は914万人、就業率は25.2%と20年連続で上昇しており、年齢階級別にみると65~69歳では52.0%と半数を超える、70~74歳でも34.0%といずれも過去最高値となっている。少子高齢化が進み労働力確保が求められる日本では、高齢者が当たり前に働く“高齢労働社会”を迎える、今後さらにその割合が高まることは明確である。

このような社会となった今、従来とは異なる状況が起きている。貴重な戦力として高齢者の社会参加が着実に進む一方で、労働災害も増加傾向にあり、60歳以上の労働災害による死傷者数は2023年で39,702人、全年齢に占める割合は29.3%に上る。事故の種類をみると「転倒」が全体で36,058人と最も多く発生しており、この主要因として、特に中高年齢の女性労働者の増加が指摘されている。

(次頁へ続く)

## 目次

1. 勤労者ロコモ問題	1
2. 胸郭出口症候群の診断治療 ~1,000例の内視鏡手術からわかったこと~ 古島 弘三	2
3. 医療安全とリーダーシップ 相馬 孝博	3
4. 令和7年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録（令和6年6月21日）	5
5. 令和7年度関東地区整形外科勤務医会総会議事録	9
6. 2024年度事業報告	10
7. 2025年度事業計画(案)	11
8. 2024年度収支決算書	12
9. 2025度予算書(案)	12
10. 令和6年度関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会議事録（令和7年10月20日）	13
11. 事務局から	17
12. お知らせ	18
13. 入会申し込み書	19

「転倒による骨折等」の発生率も女性で特に高く、60歳以上では20代の約15.1倍の発生率となっている。安全で働きやすい環境づくりに加え、この背景にあるロコモ、骨粗鬆症、加齢変性疾患への対策は急務と言える。

産業医科大学整形外科の中村英一郎らの勤労者を対象とした研究で、勤労者の転倒の要因が明らかになってきた。それによると、ロコモ度テストのうち立ち上がりテストで片脚40cmから立ち上がれないと、Yバランステストなどやや高度のバランス能力が低下していること、運動習慣がないこと、肩こり・頸部痛・腰痛があることが転倒のリスクであった。さらに中村らは勤労者の体幹筋（大腰筋、背筋）の断面積を10年にわたって調査し、どの年代においても30代以降に断面積が減少していることを示した。そのデータを用いて、デスクワークに従事している男性労働者においては、元々面積が大きく10年間の面積の減少が少ない群に対して、元々の面積がすくない群、元々面積が大きくて減少が多い群の転倒率が上昇することを示した。

また労働災害となる転倒による骨折の多くが骨粗鬆症を基盤とする骨脆弱性骨折である。一方で勤労者であっても、骨粗鬆症を自覚している人の割合は少ないことが分かつてきた。骨折を起こす前に骨粗鬆症と診断するには、骨密度測定が必須であるが、骨密度検診の受診率が低いことはよく知られている。

これらを踏まえて、日本整形外科学会では2025年9月のマスコミ向けの説明会で、企業と勤労者の双方に下記のような努力を推奨することとした。企業には「足腰の健康」の可視化を積極的に促し、従業員が長く働く土台づくりを求める。ミドル世代の勤労者にはバランス訓練と体幹筋トレ（コアマッスルトレーニング）を行い、900kcal/W(45分/日の歩行)の運動を心がけ、ビタミンD摂取を意識する。シニア世代の勤労者には、骨密度測定とロコモ度テストにより、自らの身体の状態を把握して、医療を含めた適切な対応をとる、というものである。思えば、勤務医の先生方も勤労者のひとりである。長く医師を続けるためには、上記を自分事として捉えていただき、これらの対応を推奨する次第である。

## 胸郭出口症候群の診断治療 ～1,000例の内視鏡手術からわかったこと～

慶友整形外科病院 胸郭出口症候群治療研究センター

古島 弘三

胸郭出口症候群（thoracic outlet syndrome : TOS）は、神経血管束が斜角筋三角・肋鎖間隙・小胸筋下間隙といった胸郭出口部で圧迫されることにより、頸部から肩、上肢、手指にかけての痛み、しびれ、脱力感などの多彩な症状を呈する疾患である。特にスポーツ選手や若年層においては、これらの症状が競技パフォーマンスの著しい低下を招くため、早期かつ正確な診断と適切な治療介入が不可欠である。

しかしながら、TOSは症状が非特異的であり、他疾患との鑑別も困難なため、見逃されやすい。結果として患者は複数の医療機関を受診しながらも確定診断に至らず、いわゆる「ドクターショッピング」の状態に陥ることも少なくない。これは患者の心理的・経済的負担を増大させ、適切な治療開始の遅れにもつながっている。

当院では 2012年より内視鏡支援下の第一肋骨切除および斜角筋切離術を導入し、これまでに延べ1,500 例以上の TOS 患者に対して手術を実施してきた。本講演では、これらの症例の蓄積から得られたTOS の病態理解、診断法の改善、手術手技の進化、そして治療成績に関する知見を共有する。

診断の精度を高めるためには、問診や理学所見に加え、超音波検査および3D-CTアンギオグラフィーを活用した動的評価が極めて有用であることが明らかとなった。また、術中所見と術前評価の照合を継続的に行うことと、病態の把握と診断能力の向上につながっている。

手術手技としては、Ross法に基づく経腋窩アプローチを基本とし、内視鏡を併用することで視認性と操作性を向上させた改良術式を開発・実践している。

1,000例を超える術後成績の検討では、VASおよびDASHスコアの有意な改善が得られ、スポーツ復帰率も良好であった。特に神経性 TOS では、前・中斜角筋間距離が狭く狭窄している例が多い。狭窄の度合いによって狭窄が強いほど症状も重度になる傾向なることも分かってきた。また、術中に最小斜角筋、異常線維束、頸肋などの解剖学的バリエーションを多数確認し、これらが症状と密接に関連していることも明らかとなった。

術後成績としては、Excellent または Good に該当する症例が概ね 70%以上を占め、スポーツ選手に限れば 90%以上が競技復帰を果たすなど、極めて良好な経過を示した。一方で、高齢女性（50 歳以上）では Poor 例が約 10%程度増加する傾向がみられたが、それでも約7割弱の症例で良好な転帰が得られた。内視鏡の併用は、詳細な病態評価および安全な除圧操作を可能とし、再発や合併症の発生率の低下にも寄与している。

## 医療安全とリーダーシップ

千葉大学病院 医療安全管理部

相馬 孝博

医療安全は、人間関係を基本にした組織管理である。また現代においてリーダーシップは、独りが集団を引っ張るのではなく、集団の中で互いに影響を与えるプロセスと定義づけられ、学んで身につけることができるスキルと認識されている。

手術手技などのテクニカルスキルを下支えするノンテクニカルスキルという概念があり、グループというより「個人」、パーソナリティ（人格）ではなく行動（ふるまい）、通常ではない状況のみならず通常の状況、テクニカルスキルに直接関係するスキルとして研究がなされてきた。大きく、状況認識・意志決定・チームワーク/コミュニケーション・リーダーシップ・個人的ストレス/疲労管理という 5 つの因子にまとめられており、個人が周囲に対して創発的に作用する行動がリーダーシップである。

一方世界保健機関 WHO は、患者安全カリキュラム多職種版の中で、チームリーダーに選ばれた際の心構えとして 13 項目を挙げている。それは、① リーダーとしての役割を引き受ける、② 必要に応じて支援を求める、③ 継続的に状況をモニタリングする、④ 優先順位を定め決定を下す、⑤ 活動の成果を最大限引き出せるように資源を活用する、⑥ チーム内の対立を解決する、⑦ チーム内の作業負荷を調整する、⑧ 任務や役割をメンバーに委任する、⑨ ブリーフィング/ハドル/デブリーフィングを実施する、⑩ メンバーが自由に発言および質問できるよう奨励する、⑪ チーム向けの改善活動や訓練を計画する、⑫ メンバーの士気を高め前向きなチーム文化を維持する、⑬ 順調に機能し成果を達成できるようにする、というものであり、定型業務の他に「自由に発言」「士気を高める」という項目があることに留意したい。

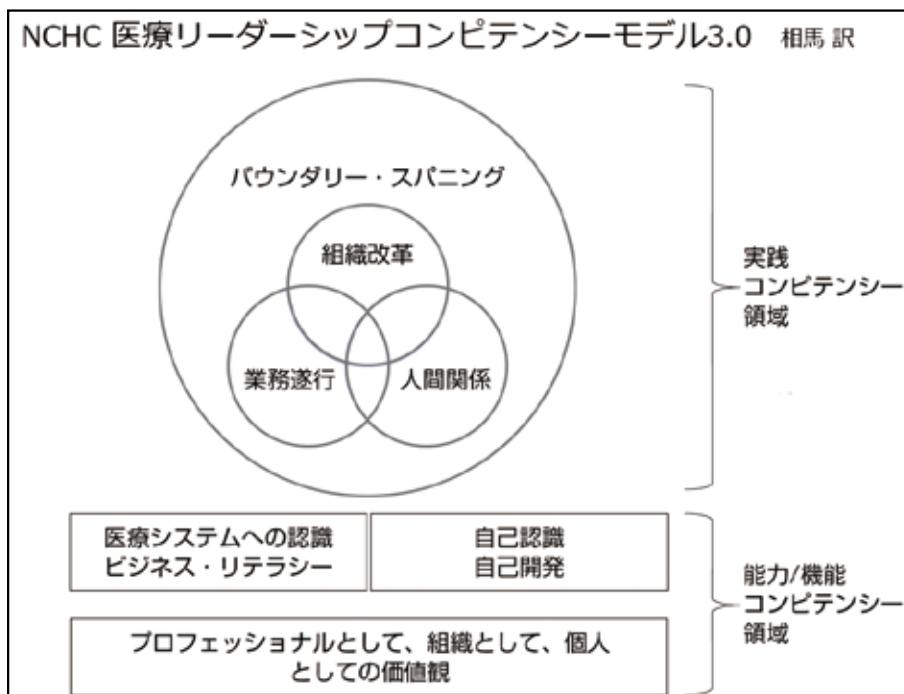
メンバーの公平な扱いを保証し、誰もが快適に支援されていると感じられる組織文化は「心理的安全性」と呼ばれ、インクルーシブ（包括的）リーダーシップの本丸である。つまりリーダーの行動によって、メンバーの知識や能力がグループの作業に取り込まれ、結果としてチームへの帰属意識も高まることになる。

心理的安全性を促進する因子としては、

- ① チームリーダーの包容力（個人をチームに紹介する）
- ② 開かれた組織文化（偏見のない雰囲気）
- ③ 部署内での支援（チーム内の似たような個人を見つけ出す）
- ④ 境界を広げる（サブグループをつなぐ個人の力）
- ⑤ 対人関係（身近な長期在籍のチームメンバー）
- ⑥ 小人数（個人は小集団でより快適で自信を持つ）
- ⑦ 発言者の性格（自信を持って意見を言うことができる）
- ⑧ 会議の司会（司会者に任命されると発言する気になる）

という8項目が見いだされているので、リーダーたるものは上記を心がけたいものである。

安全な業務の遂行には、規律や手順の確立に目が行きがちになるが、リーダーによる心理的安全性の確保が最も重要なのである。



# 令和7年度関東地区整形外科 勤務医会 幹事・常任幹事会

## 議事録

日時：2025年6月21日（土曜日） 14:30～15:20

会場：「A P 東京八重洲通り」 11F [L] ルーム

出席者：

浅野 聰、新井 嘉容、石橋 英明、伊藤 淳二、  
伊室 貴、上杉 雅文、江畑 功、大江 隆史、  
岡崎 真人、桂川 陽三、亀山 真、楠瀬 浩一、  
児玉 隆夫、小森 博達、坂根 正孝、進藤 重雄、  
田尻 康人、辰巳 徹志、戸野塙 久紘、長瀬 寅、  
新闇 祐美、萩野 哲男、林 淳慈、原 慶宏、  
原田 義忠、東川 晶郎、平泉 裕、平野 篤、  
福田 健太郎、堀内 行雄、三原 久範、村松 俊樹、  
山縣 正庸、山本 精三、吉田 英彰、若林 良明  
(36名：五十音順、敬称略)

### 【報告事項】

#### 1 理事会報告

大江先生より報告

- ・日整会100年プロジェクト

(2026年5月～2027年5月)

2027年の第100回の学術総会からメイン言語が英語となる。第100回目整会学術総会の英語化について実施後に参加者の反応をみて今後の方針を検討

- ・ロゴマーク、ピンバッジの作成

「会員向け」ロゴマーク等利用手続き開始、100周年記念ピンバッジ発注

- ・第172回ロコモチャレンジ推進協議会

海外連携を見据え、英語版パンフレットの作成および海外の商標登録について検討

- ・リウマチ手の外科医師減少に対して、育成助成制度を導入することとなる。日本整形外科学会・日本リウマチの外科学会リウマチ外科医育成助成制度（仮）要綱について理事会で意見を交わした結果、要綱を承諾した。

- ・再生医療に於いて、自己軟骨由来組織の変形性関節症による治療が保健適応。ヒト（自己）軟骨由来組織の変形性膝関節症に対する適正使用指針について理事会で意見を交わした結果、原案のとおり承諾

- ・理事長（代表理事）の選定方法

任期中に会長・次期会長・次々期会長にあたる理事は、理事長（代表理事）・副理事長になることができない。

- ・日本整形外科学会 理事長改選

- ・新理事長（代表理事）：河野博隆先生選任

- ・副理事長 田尻康人、斎藤 充、寺門 淳、

波呂浩孝

- ・理事長職務代行順位

- ・第1順位：田尻康人、第2順位：波呂浩孝、

- ・第3順位：寺門 淳、第4順位：斎藤 充

- ・公益社団法人法の改正に伴い理事・監事の中に外部委員の加入（弁護士・公認会計士）

#### 2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・会報83号を発行、送付した

- ・HPを更新した

#### 3 「ロコモチャレンジ！推進協議会」の活動報告

大江先生より報告

- ・近年、高齢労働者の転倒・骨折が爆増し、労災の対象となる為、社会問題化

これを含めて勤労者ロコモとして対策に協力する

- ・サントリーウエルネスの事業部門、生命科学研究所メンバーより同社の事業や研究実績、生活者に向けた取り組み状況の紹介と、協議会参加の趣旨を説明。

参加の意図としては「生活者に寄り添い、医学的にも適切な商品・サービスの開発」に向けて、本会とともにロコモ予防啓発活動に取り組み、知見の蓄積や研究に関する意見交換等の学びの機会を得たいとのこと同社の協賛について承認された。

- ・2025年ロコモ認知度調査結果について「ロコモティブシンドローム」の認知率は全体では41.9%で、昨年(43.2%)より1.3%減。都道府県別にみると、認知率が5割を超えていたのは宮崎県、秋田県、佐賀県のみであった。

- ・パンフレットを更新し、英語版作成（東南アジア・韓国から要望）

韓国の整形外科医から協議会事務局宛てに、韓国でのロコモ啓発に際しての問い合わせがあり、最新版のロコモパンフレット、ロコモアドバイスドクター用の講演スライドについて、日本運動器科学会が作成したロコモ関連用語英語対訳表に沿って英訳し、

提供することとなった。現在、ロコモパンフレットの英訳作業を進めている。

- ・千葉大と大宮シティクリニックによる人間ドック 35000 症例のメタボ+ロコモの研究発表話題  
大江委員長、山田先生より、大宮シティクリニックの人間ドックデータ約 35,000 人分を用いた論文が scientific reports にて accept されたとのご報告
  - ・メタボに該当する人は、該当しない人と比較して ロコモを 1.8 倍多く合併することが判明
  - ・特にその傾向が顕著となる 50 歳代付近からロコモ検診を行うことが推奨される
- ・千葉大学からプレスリリースもあり
- ・日本整形外科学会、日本骨粗鬆症学会で、日本栄養改善学会と合同シンポジウムを 9 月の栄養改善学会（東京農業大学）にて開催

#### 4 外保連関係の報告

亀山先生より報告

- ・**令和 8 年度改定に向けて勤務医会からの要望案件**  
手術通則 14 の改正（人工骨頭挿入術（肩）と骨折観血的術（上腕）の併施）  
→通則 14 の留意事項（複数手術に係る費用の特例）  
→主たる術式（100/100）+従たる術式（50/100）  
の点数を要望

目的：人工骨頭挿入術（肩）の増点

人工骨頭挿入術（肩）は人工骨頭挿入術（股）と同一の K コードに区分され、外保連試案ではいずれも 90 分と登録されている。しかし実際の手術時間は、骨接合術を追加する分、より手術時間が長い可能性がある。

→手術時間の差分を調査して、これを人件費で換算し、今回申請する増点分が妥当かどうか？

→JOANR へ人工骨頭挿入術（肩）の手術件数、手術時間、技術度ごとの件数の解析を依頼：533 件（年）

- ・今回の JOANR データの申請学会は、勤務医会以外に 脊椎脊髄病学会、手外科学会
- ・医療技術評価提案書は事務局より外保連へ提出し、修正依頼なく無事に受理された。

・7 月～8 月厚生労働省によるヒアリング実施（未定）

・**厚生労働省保険局医療課と整形外科領域 K コード WG の間で K コード整理に関する会議**

- ・K コードを術式別から臓器、部位別のコード体系へ変換する

→整形外科領域の 1120 術式に施行

→術式名の並びは、基本的に部位名一病名一術式とする。

- ・外保連が提案している STEM7 ではなく、既存の術式の順番を活かした再編案（厚労省が作成）を基本として作業を進める。
- ・令和 8 年度診療報酬改定で、点数の増減は変更せず、来年 1 月の医療技術評価分科会で令和 10 年度診療報酬改定での点数の増減を検討する。
- ・5～6 月で、厚労省が各学会の先生方とミーティングを設け、それぞれの学会が主学会である術式コードについて調整を進める。
- ・**医療経済実態調査の依頼（厚生労働省保険局医療課、中医協、日本医師会からの周知依頼）**
  - ・目的：病院、一般診療所、歯科診療所及び保険薬局における医業経営等の実態を調査し、令和 8 年度診療報酬改定に向けての社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備
  - ・方法：各施設の概要、損益の状況、従事者の人員及び給与等の状況を調査
  - ・対象：約 10,000 施設を無作為抽出（調査票の提出は 7 月 18 日が期限）

#### ・**令和 7 年度全国整形外科保険審査委員会議**

- ・令和 7 年 9 月 7 日に東京コンファレンスセンター /Web のハイブリッド開催予定

平泉先生より補足

- ・第 99 回日整会学術集会にて、当会提案の「整形外科の未来を守るために—診療報酬改定への対応—」がシンポジウムとして採択される方向
- ・日本整形外科学会社保委員会にて JOANR の解析結果を扱う

#### 5 内保連関係の報告

石橋先生より報告

- ・令和 8 年度の診療報酬改定に向けて、内保連からの提案は、全体では総数 391 件、未収載（新規）154 件、既収載が 237 件で提出された

前回の令和 6 年度の改定では総数 415 件中要望通り反映されたのが 8%、一部反映が 11%、未収載医療技術に限ると要望通りが 3%、一部反映が 7% と非常に狭き門であった。

・日整会主学会提案

- ・「ロコモ・フレイル指導管理料」（未収載）
- ・「がん骨転移指導管理料」（未収載）

- ・日本臨床整形外科学会主学会提案  
「二次性骨折予防継続管理料 2 : 算定施設要件の緩和」(既収載)  
「骨粗鬆症における骨代謝マーカーの測定要件の見直し」(既収載)
- ・日本運動器科学会主学会提案  
「運動器リハビリテーション：起算日の変更」(既収載)  
「運動器リハビリテーション：外来での早期・初期加算の適応疾患拡大」(既収載)  
「運動器リハビリテーション：ロコモ度テストを評価に加える」(既収載)
- ・日本老年医学会主学会提案  
「骨格筋量評価（体液量測定）」(既収載)
- ・令和 8 年度社会保険診療報酬改定スケジュール  
令和 7 年 2 月～4 月下旬：提案書提出  
4 月下旬～5 月中旬：内保連役員によるヒアリング期間  
\*5 月 15 日：「ロコモ・フレイル指導管理料」  
ヒアリング  
6月初旬：内保連医療技術提案書／医薬品提案書  
厚労省に提出  
7 月～8 月：厚労省と学会間のヒアリング実施  
および厚労省と内保連役員によるヒアリング

## 6 本日の総会、第 80 回教育研修会

- 事務局/村松先生より報告
- ・日時：2025 年 6 月 21 日(土) 15:30～18:00
  - ・会場：A P 東京八重洲通り (11F K ルーム)  
15:30～15:50 総会  
15:50～16:00 製品情報提供 帝國製薬企業 DVD  
16:00～18:00 第 80 回教育研修会 2 演題  
(講師控室：N ルーム)  
18:00～20:00 情報交換会「M ルーム」
  - ・演題 1  
座長：岡崎 真人先生 (河北総合病院 整形外科診療部長)  
演者：古島 弘三先生 (慶友整形外科病院 副院長  
慶友胸郭出口症候群センター長)  
演題：「胸郭出口症候群の診断治療、1,000 例の内視鏡手術からわかったこと」
  - 単位：必須分野 [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)、[9] 肩甲帶・肩・肘関節疾患、[Re] 運動器リハビリテーション医

- 開始時間：16:00、終了時間：17:00
- ・演題 2  
座長：若林 良明先生 (横浜市立みなと赤十字病院 副院長、整形外科部長)  
演者：相馬 孝博先生 (千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 特任教授)  
演題：「医療安全とリーダーシップ」  
単位：必須分野 [14-5] その他  
開始時間：17:00、終了時間：18:00
  - 7 次回 10 月の常任幹事会の日時、開催形式  
事務局より報告
    - ・配信日：2025 年 10 月 20 日 (月) 19:00～20:00
    - ・形式：WEB (Zoom) 開催
  - 8 次々回 12 月の幹事・常任幹事会、第 81 回教育研修会  
事務局/村松先生より報告
    - ・日時：2025 年 12 月 20 日 (土) 14:30～18:00
    - ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目 3 番 1 号  
新宿アーランドウイング 11 階
    - ・14:30～15:30 幹事・常任幹事会
    - ・15:40～15:50 製品情報提供
    - ・16:00～18:00 第 81 回教育研修会 2 演題
    - ・演題 1  
演者：吉井 俊貴先生 (東京科学大学 先端医療開発学講座 整形外科学分野 教授)  
演題：「脊椎関連（仮）」
    - ・演題 2  
演者：宮越 尚久先生 (秋田大学大学院 医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 整形外科学講座 教授)  
演題：「骨粗鬆症関連（仮）」
  - 9 次々々回 2026 年 3 月の常任幹事会の日程  
事務局より布告
    - ・日程候補日：2026 年 3 月 16 日 (月) 19:00～20:00
    - ・形式：WEB (Zoom) 開催
  - 10 常任幹事退任  
事務局より報告
    - ・楠瀬 浩一先生 (元 林外科病院)
  - 11 2024 年度事業報告【資料 1】  
事務局より報告
  - 12 新常任幹事

- ・水野 広一先生（総合病院土浦協同病院 整形外科部長）(2024年10月 承認)
- ・萩野 哲男先生（国立病院機構甲府病院 院長）(2025年3月 承認)  
→萩野先生よりご挨拶

#### 【審議事項】

##### 1 2025年度事業計画案【資料2】

事務局より報告  
→説明に対して、参加者の拍手をもって承認

##### 2 2024年度収支決算報告【資料3】

事務局より報告  
→説明に対して、参加者の拍手をもって承認

##### 3 会計監査【資料4】

楠瀬先生/山本先生より報告  
・監査代表：楠瀬先生より適切に運営されている旨報告  
→参加者の拍手をもって承認  
・石橋先生より提案「会報の発送において会報をPDF化し、メール送信はどうか？」  
→事務局（新井）より回答  
・メールアドレスの集積が十分でないため、もう少し時間が必要  
大江先生補足  
・音信不通の会員でも対応する必要性があるため紙媒体を一つは残しておく必要がある

##### 4 2025年度予算案【資料5】

事務局より報告  
→説明に対して、参加者の拍手をもって承認

##### 5 来年度2026年6月の幹事・常任幹事会、総会、第82回教育研修会の日程

事務局より提案  
・日時：2026年6月20日（土曜日）14:30～18:00  
もしくは2026年6月13日（土曜日）14:30～18:00  
2026年6月27日（土曜日）14:30～18:00  
・日程に関し他イベントの開催時期を精査の上、  
2026年6月20日を事務局として提案  
→参加者の拍手をもって承認  
・会場：A P東京八重洲通り（11F K・L ルーム）  
14:30～15:30 幹事・常任幹事会  
15:30～15:50 総会  
15:50～16:00 製品情報提供  
16:00～18:00 第82回教育研修会 2演題  
18:00～ 情報交換会

##### 6 監事の交代

事務局より報告  
・楠瀬浩一先生の常任幹事ご退任に伴う新監事の選出  
事務局より、新監事立候補ない旨を確認  
楠瀬先生より松原 正明先生（公益財団法人日産厚生会玉川病院 関節疾患研究部門長 医学研究所長）  
が推薦された。  
→楠瀬先生より推薦の経緯が説明され、その上で拍手にて承認

##### 7 新常任幹事の推薦

事務局より報告  
・鎌田 孝一先生（河北総合病院 院長）  
推薦者：元 林外科病院 楠瀬 浩一先生)  
→楠瀬先生より推薦の経緯が説明され、参加者の拍手をもって承認

##### 8 新幹事の推薦

事務局報告  
・該当者なし  
9 本日の総会における議長・副議長の選出  
事務局より報告  
・立候補の確認をするが該当者なく、事務局より以下2名を推薦  
・議長：上杉 雅文先生（茨城西南医療センター病院 院長）  
・副議長：長瀬 寅先生（同愛記念病院 整形外科部長）  
→参加者の拍手をもって承認

##### 10 その他

・特になし  
以上

〔文責：事務局 新井嘉容〕

# 令和7年度 関東地区整形外科

## 勤務医会総会 議事録

日時：2025年6月21日 15:30-15:50

会場：「A P東京八重洲通り」 11F [K] ルーム

会員数：378名（入会 3名、退会 5名）

出席者：57名、委任状：65通

・議長：上杉 雅文先生（茨城西南医療センター病院 院長）

・副議長：長瀬 寅先生（同愛記念病院 整形外科部長）

議長より

出席者 57名、委任状による議決権数 65名、合計 122名であり、会員の10分の1以上の出席を要件とする総会の開催条件（会則15条）を満たしていることを確認、総会開始となる

### 【報告事項】

1 常任幹事の退任

・楠瀬 浩一先生（元 林外科病院）

2 2024年度事業報告【資料1】

### 【決議事項】

1 2025年度事業計画案【資料2】

→資料の説明に対して、拍手をもって承認

以上

2 2024年度収支決算【資料3】

→資料の説明に対して、拍手をもって承認

3 会計監査報告【資料4】

・楠瀬先生より事務局との資料を通して説明を受けた上で、運営上の問題ないことを報告

→報告に対して、拍手をもって承認

4 2025年度予算案【資料5】

→資料の説明に対して、拍手をもって承認

5 監事の交代

・(旧) 楠瀬 浩一先生（元 林外科病院）

・(新) 松原 正明先生（日産厚生会玉川病院 関節疾患研究部門長 医学研究所長）

楠瀬先生より推薦の経緯の説明があり、幹事常任幹事会にて承認された旨報告

→拍手にて承認

6 新常任幹事の承認

・水野 広一先生（総合病院土浦協同病院 整形外科部長）

・荻野 哲男先生（国立病院機構甲府病院 院長）

・鎌田 孝一先生（河北総合病院 院長）

→幹事常任幹事会にて承認された旨報告、拍手にて承認

荻野先生より常任幹事就任のご挨拶

7 新幹事の承認

・該当者なし

8 その他

三原久範先生（神奈川県）より事務局への要望

・事務局より各支部の名簿作成が求められているが名簿作成にあたり、会費支払い状況が活動実態の把握のため重要な情報となると考えられる。

各支部で会費を徴収しているわけではないので是非、事務局で管理している会費支払い状況を開示していただきたい。

→事務局（新井）より回答

・名簿作成において会費支払い状況は必要な情報であると思われます。

各支部の会長宛に会費の納入の状況をお伝えすることにいたします。引き続き各支部でのリスト作成を強くお願いします。

他に質問のない事を確認し、総会閉会とした。

〔文責：事務局 新井嘉容〕

## 2024 年度事業報告

2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日

会報発行：2 回

第 82 号：2024 年 12 月 14 日発行

第 83 号：2025 年 6 月 21 日発行

総会：1 回 2024 年 6 月 22 日

幹事・常任幹事会：2 回

2024 年 6 月 22 日、同年 12 月 14 日

常任幹事会：2 回

2024 年 10 月 21 日 (Web 開催)

2025 年 3 月 17 日 (Web 開催)

教育研修会：2 回

2024 年 6 月 22 日、同年 12 月 14 日

・第 78 回 教育研修会 2024 年 6 月 22 日

### 【演題 1】

座長：中尾 祐介先生

演者：折田 純久先生（千葉大学フロンティア工学  
センター 千葉大学大学院整形外科学）教授

演題：腰痛を取り巻く現状と次世代環境

### 【演題 2】

座長：山本 精三先生

演者：黒住 健人先生（国家公務員共済組合連合会  
虎の門病院 外傷センター部長）

演題：整形外科医が知っておくべき BCP (Business  
Continuity Planning)

・第 79 回 教育研修会 2024 年 12 月 14 日

### 【演題 1】

座長：戸野塚 久紘先生

演者：松坂 俊先生（飯塚病院 連携医療・緩和医療  
科）

演題：壊死性軟部組織感染症を見逃さないために知つ  
ておくべきこと

～症例から学ぶ壊死性軟部組織感染症の A to Z～

### 【演題 2】

座長：吉田 英彰先生

演者：田中 伸哉先生（東都春日部病院 整形外科 診  
療部長）

演題：40 年にわたる骨粗鬆症治療の組織学的アルゴリ  
ズム

### 【資料 1】

全国整形外科保険審査委員会議（全審会）

2024 年 9 月 8 日

外科系学会社会保険連合（外保連）

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、

麻酔委員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合（内保連）

日整会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会

2025 年 5 月 21 日

## 【資料2】

勤務医会ホームページ維持・管理  
会員メールアドレスの集積

# 2025年度 事業計画案

2025年6月1日～2026年5月31日

会報発行：2回 2025年12月、2026年6月を予定

総会：1回 2025年6月21日

幹事・常任幹事会：2回

2025年6月21日、同年12月20日

常任幹事会：2回

2025年10月20日（Web開催）、2026年3月16日（Web開催）

教育研修会：2回 2025年6月21日、同年12月20日

・第80回 教育研修会 2025年6月21日

## 【演題1】

演者：古島 弘三先生（慶友整形外科病院 副院長

慶友胸郭出口症候群センター長）

演題：胸郭出口症候群の診断治療、1,000例の内視鏡

手術からわかったこと

## 【演題2】

演者：相馬 孝博先生（千葉大学医学部附属病院 医療

安全管理部 特任教授）

演題：医療安全とリーダーシップ

・第81回 教育研修会 2025年12月20日

以下の二方の先生にご講演をお願いしご快諾を得て  
いる

## 【演題1】

演者：吉井 俊貴先生（東京科学大学先端医療開発学

講座 整形外科学分野教授）

演題：「脊椎関連（仮）」

## 【演題2】

演者：宮越 尚久先生（秋田大学大学院医学系研究科医  
学専攻機能展開医学系 整形外科学講座 教授）

演題：「骨粗鬆症関連（仮）」

全国整形外科保険審査委員会議（全審会）

2025年9月7日ハイブリッド開催

外科系学会社会保険連合（外保連）

総会、手術委員会、処置委員会、検査委員会、

麻酔委員会、実務委員会、広報委員会など

内科系学会社会保険連合（内保連）

日本整形外科学会社会保険委員会

日本整形外科勤務医会総会 2026年5月20日（予定）

【資料3】

## 2024年度 収支決算書

2024(令和6)年6月1日～2025(令和7)年5月31日

### [収入の部]

[単位：円]

項目	予算額	決算額	増減	付記
前年度繰越金	2,291,786	2,291,786	0	
会費	600,000	604,000	4,000	会員378名中 151名納入済み
利子	20	1,244	1,224	
研修会費	200,000	239,000	39,000	
広告費	400,000	420,000	20,000	
幹事会費	0	0	0	
合計	3,491,806	3,556,030	64,224	

### [支出の部]

[単位：円, 予算に対して収入減：▲]

項目	予算額	決算額	増減	付記
幹事会費	0	0	0	
総会研修会費	300,000	160,930	▲ 139,070	
会報	420,000	386,761	▲ 33,239	
日本整形外科勤務会費	300,000	332,000	32,000	単位申請費 20,000円含む
通信費	10,000	9,120	▲ 880	
H P 運営費	200,000	183,700	▲ 16,300	
事務人件費	120,000	120,000	0	
雑費	10,000	60,068	50,068	
小計	1,360,000	1,252,579	▲ 107,421	
次年度繰越金	2,131,806	2,303,451	171,645	
合計	3,491,806	3,556,030	64,224	

【資料5】

## 2025年度 予算書（案）

### [収入の部]

[単位：円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
会費	600,000	600,000
利子	20	20
研修会費	200,000	200,000
広告費	400,000	400,000
(幹事会費)	0	0
前年度繰越金	2,303,451	2,291,786
合計	3,503,471	3,491,806

### [支出の部]

[単位：円]

項目	本年度予算額	前年度予算額
(幹事会費)	0	0
会場費 (総会研修会費)	300,000	300,000
会報	420,000	420,000
日本整形外科勤務会費	300,000	300,000
通信費	10,000	10,000
H P 運営費	200,000	200,000
事務人件費	120,000	120,000
雑費	30,000	10,000
小計	1,380,000	1,360,000
次年度繰越金	2,123,471	2,131,806
合計	3,503,471	3,491,806

かけがえのない命の手助け…



より良き健康と医療を目指して  
**サンメディックス株式会社**

本社 〒104-6136

東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアY棟3階  
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

- 東京第一支店 〒179-0075 東京都練馬区高松6-35-15 TEL:03-5923-6235(代) FAX:03-5393-3057
- 東京第二支店 〒130-0014 東京都杉田区亀崎4-17-12 TEL:03-5619-4551(代) FAX:03-6859-0016
- 東京第三支店 〒168-0063 東京都杉並区和泉1-22-19 TEL:03-6680-0460(代) FAX:03-6680-0538
- 多摩支店 〒187-0004 東京都小平市天神町1-9-27 TEL:042-348-5011(代) FAX:042-348-5015
- 千葉支店 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 TEL:043-296-1063(代) FAX:043-296-1067
- 川崎支店 〒216-0005 神奈川県川崎市宮前区土橋1-21-5 TEL:044-870-6377(代) FAX:044-866-3813
- 横浜支店 〒240-0005 神奈川県横浜市東七丁目134 TEL:045-348-7260(代) FAX:045-348-7261
- 相模原支店 〒252-0334 神奈川県相模原市南区若松1-1-3 TEL:042-767-3771(代) FAX:042-767-3773
- 厚木支店 〒243-0016 神奈川県厚木市木田町10-12 TEL:046-296-2822(代) FAX:046-222-1563
- 宇都宮支店 〒320-0074 栃木県宇都宮市綾町388-1 TEL:028-616-1580(代) FAX:028-623-7350
- とちぎ支店 〒329-4404 栃木県大平町富石1510番3 TEL:0282-45-3701(代) FAX:0282-44-0891
- 茨城支店 〒144-0042 茨城県水戸市昭和町11-11 桜クロノゾー内 TEL:03-5735-7111(代) FAX:03-3743-8811
- 水戸営業所 029-305-6125(代) □ 埼玉営業所 048-640-6621(代) □ 長野営業所 026-229-8030(代)
- 筑波営業所 029-850-5185(代) □ 群馬営業所 0493-21-7310(代) □ 松本営業所 0263-24-1125(代)
- 前橋営業所 027-280-4433(代) □ 山梨営業所 055-242-0301(代) □ 名古屋営業所 052-218-2735(代)

URL : <https://www.sunmedix.co.jp>

# 令和7年度関東地区整形外科 勤務医会 常任幹事会 議事録

日時：2025年10月20日(月曜日) 19:00～20:00

方法：WEB（Zoom）開催

出席者：

阿江 啓介、浅野 聰、新井 嘉容、石橋 英明、  
伊室 貴、伊藤 淳二、上杉 雅文、浦部 忠、  
江畑 功、大江 隆史、岡崎 真人、鎌田 孝一、  
鎌田 修博、亀山 真、児玉 隆夫、  
小宮 浩一郎、坂根 正孝、篠崎 哲也、  
進藤 重雄、田尻 康人、戸野塙 久紘、  
富田 善雅、長瀬 寅、新闇 祐美、荻野 哲男、  
萩原 敬一、原 慶宏、原田 義忠、東川 晶郎、  
平泉 裕、平野 篤、福田 健太郎、眞塩 清、  
松原 正明、三上 容司、水野 広一、  
三原 久範、村松 俊樹、森岡 秀夫、  
山縣 正庸、吉田 英彰、吉田 宏樹、若林 良明  
(43名：五十音順、敬称略)

## 【報告事項】

### 1 理事会報告

大江先生より報告

- ・名誉会員ご逝去の報告

落合直之先生、蒲原宏先生、矢部裕先生のご逝去報告

- ・医薬品・医療機器関連

ジョイクリ関節注、ステンレスインプラント等の安定供給確保に向けた活動継続中

- ・第57回骨・軟部腫瘍学術集会

参加者数：現地参加1,092名、オンデマンド423名に修正

- ・日本整形外科学会相談医の名称許諾承認の件

相談員申請者77名、全員承認

- ・専門医試験関連

専門医試験問題の二次使用についてのステートメント案を作成予定。専門医試験問題の著作権は日整会に帰属

- ・日整会誌関連

MED PORTAL改修の進め方及び概算費用について

承諾。

学術集会抄録応募時に「著作権に関する同意書」を提出する方式に変更

- ・JOANRの運用・活用

- ・発展的継続可能なナショナルレジストリーへ
- ・膨大なデータを利用可能とするための運営体制を検討中

- ・100年プロジェクト関連

- ・抽選で200名の若手会員に英文医学誌（JBJS、BJJ、CORR）の1誌を半額（日整会が3割負担）でサポート（2年間）

- ・「100年プロジェクト記念バッジ」配布中  
人気につき追加発注

- ・広報活動（AC ジャパン支援キャンペーン応募）

- ・「骨粗鬆症の怖さ」をテーマに応募・プレゼン実施

- ・本年度は不採択となるも、来年度も応募継続予定

- ・100年誌の冊子配布

- ・名誉会員159名及び賛助会員60団体には無償配布、希望者へも無償配布予定

- ・骨粗鬆症委員会全国調査

- ・大腿骨近位部骨折の全国調査を実施中

- ・JOANR2階部分への参加による業務効率化を検討中

- ・SICOT 2026（京都開催）

- ・2026年9月開催予定

- ・目標参加者4,000名（うち日整会員3,000名を想定）

- ・日整会から各大学等へ参加呼びかけ

- ・参加費支援の検討

### 2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・HPを一部更新

- ・会報84号準備中

### 3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告

大江先生より報告

- ・今後の活動方針について

- ・現状の取り組みを再度盛り上げていくための方策について検討中

- ・主な方向性として以下の3点を検討している

- 1 国際化への対応

- 2 勤労者層へのアプローチ強化

- 3 ロコモーショントレーニング（ロコトレ）の見直し・拡充

- ・ロコモーショントレーニング(ロコトレ9)見直し
  - ・現在、ロコトレでは「スクワット」と「片足立ち」の2種類が中心
- ・今後は、より幅広い層に対応できるよう運動段階に応じた多様なロコトレを検討中
- ・これを実現するため、ロコトレ・ロコモ対策ワーキンググループを新設
- ・2007年のロコモ開始時(2005年頃までのエビデンス)以降、20年分の新たな科学的根拠が蓄積されているため、最新エビデンスを踏まえて見直しを進める
- ・新ガイドライン・運動プログラムは来年度中の発表を予定
- ・関連学会との連携・新たな取り組み
  - ・日本栄養改善学会・日本整形外科学会・骨粗鬆症学会の3学会による合同シンポジウムが開催
  - ・今年は「食品栄養摂取基準ガイドライン」の改訂があり、骨粗鬆症に関する栄養指針が初めて明記
    - ・骨粗鬆症がメタボリックシンドロームに続く「第4の重点予防項目」として扱われた
    - ・整形外科学会としても重要なトピックであり、今後の活動への反映を検討する
  - ・今後、内科学会系との連携を進めつつ、勤労者や一般層に向けた発信強化を行う
- ・国際展開・英語対応
  - ・東南アジア諸国(タイ、シンガポールなど)から問い合わせが増加
  - ・これらの国々では高齢化が進み、日本の取り組みを参考にしようとする動きがある
  - ・対応策として：
    - ・協議会で英語版パンフレットを作成
    - ・ロコモガイドラインの抄録を英訳し、海外でも活用できる形に整備
    - ・今後、国際会議での共有も視野に入れる
- ・関連団体との連携状況
  - ・「ロコチャレ」と「SLOC(臨床整形外科学会)」との関係について報告
  - ・今後は臨床整形外科ともより協力的な関係を取り組みを進める方向

#### 4 外保連関係

亀山先生より報告

- ・関東整形外科勤務医会社保委員会報告  
厚労省のヒアリング(2025年7月31日)

- 「通則14の追加：人工骨頭挿入術(肩)と骨折観血的手術(上腕)の併施」について  
→11月初旬に一次評価の結果が発表の見込み
- ・全国整形外科保険審査委員会議(2025年9月7日ハイブリッド開催)
    - ・418名参加(現地109名、web参加309名)
    - ・手術案件等：18件 その内、手外科関連が半数以上
    - ・リハビリ、医学管理、検査、投薬、等：13件
  - ・外保連関連
    - ・外保連の手術実態調査(手術時間について)の公開→2025年8月31日手術委員会より  
今回は、従来の日本外科学会関連施設へのアンケート以外に、独自調査としてNCDデータ、JOANRデータを使用(データの出典元がJOANRの場合はJ、NCDの場合はNが付されている)
      - ・手術時間増加：457術式(例：人工骨頭挿入術(肩)は90分から180分へ増加→JOANRに依頼したデータ(140分)を反映していない?)
      - \*JOANRを反映していない
      - ・手術時間減少：550術式
      - ・手術時間不变：3051術式
    - ・外保連試案2026は来年1月刊行予定
    - ・整形外科領域の術式のKコード再編(術式別→部位別)に伴う厚労省との打ち合わせ会議の結果、再編が間に合う見通しは令和8年度ないし10年度改定になる見込み(2025年10月15日の日整会役員・代議員懇談会の資料より)  
(補足)手術実態調査およびJOANRデータ活用状況について
- 平泉先生より報告
- ・JOANRデータには症例数・内容両面で課題があり、部分的にNCDや外保連データを採用
  - ・今後はデータ整備・登録精度の向上が重要
  - ・Kコード再編データは10~11月に中医協に提出予定
  - ・JOANRデータを社保活動に用いる際の申請様式が整備されたため、今後は新様式で申請を行う
  - ・外保連試案2026には最終データを反映予定

#### 5 内保連報告

石橋先生より報告

- ・9月25日に、令和8年度の診療報酬改定に向けて、内保連からの提案書が刊行された。  
基本方針は以下の通り

- 1 「重症度、医療・看護必要度」の見直しに関する提案（A, B, C 案）
- 2 内科系治療の基本である薬物療法における処方技術の評価：「注射処方料」ゼロの是正
- 3 「説明射と同意」評価し、「人工呼吸器装着前意思決定支援料」を新設
- 4 医療安全の推進
- 5 チーム医療の推進と医師負担の軽減
- 6 医療連携と在宅医療の推進
- 7 妊娠・周産期医療の重視
- 8 小児医療の重視
- 9 予後改善の重視
- 10 遠隔医療の推進
- 11 AI（人工知能）診療・診断の推進
- 12 医療DXの推進
- 13 国民に役立つ医療技術の導入・強化
- ・日整会主学会提案は、「ロコモ・フレイル指導管理料」（未収載）および「がん骨転移指導管理料」（未収載）で、両者とも多職種で状態の評価・管理、改善指導を行う。
- ・「ロコモ・フレイル指導管理料」は、日本臨床整形外科学会、日本運動器科学会、日本腰痛学会、日本病態栄養学会、日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル学会、日本骨粗鬆症学会が共同提案学会
- ・「がん骨転移指導管理料」は、日本臨床腫瘍学会、日本放射線腫瘍学会、日本がんサポートイブケア学会が共同提案学会
- ・日整会が共同提案となっているのは、日本臨床整形外科学会主学会提案の「二次性骨折予防継続管理料2：算定施設要件の緩和」（既収載）、「骨粗鬆症における骨代謝マーカーの測定要件の見直し」（既収載）、日本運動器科学会主学会提案の「運動器リハビリテーション：起算日（をリハ開始日へ）の変更」（既収載）、「運動器リハビリテーション：外来での早期・初期加算の適応疾患拡大」（既収載）、「運動器リハビリテーション：ロコモ度テストを評価に加える」（既収載）、日本老年医学会主学会提案の「骨格筋量評価（体液量測定）」（既収載）、日本骨粗鬆症学会主提案の「骨粗鬆症指導管理料」
- ・7月および8月に厚労省と学会間のヒアリングが実施された
- ・ロコモ・フレイル指導管理料に関する検討状況（概要）

#### 1 制度概要

- ・対象：運動器疾患有し、ロコモ度2以上またはサルコペニアと判定された40歳以上の患者
- ・目的：薬物治療以外の運動・栄養・生活習慣指導を多職種連携で実施
- ・指導方法：説明文書を用いて実施

- ・対象疾患：中高年に多い運動器疾患、脊椎・下肢骨折など
- ・算定要件：
  - ・1回300点
  - ・3か月に1回算定可能
  - ・「生活習慣病管理料II（333点）」に準ずる
- 2 ヒアリング概要（7月24日・Zoom開催）
  - ・全体的な反応：概ね好意的、大きな否定的意見なし
  - ・主な質問・意見と対応：
    - ・対象年齢について
      - 70歳前後が多いのでは、との意見あり
      - 40～50代でも脆弱な例（要介護2など）
    - ・があり、早期介入目的で「40歳以上」と設定
    - ・運動内容について
      - 「ロコトレ」などを中心に実施予定
    - ・サルコペニア判定方法について
      - 筋肉量測定は困難だが、5回立ち上がり・握力など臨床的評価で対応可能
    - ・栄養指導者について
      - 管理栄養士がいない施設も多く、看護師・理学療法士が担当可能
    - ・対象人数の少なさについて
      - 条件該当者のみ対象のため問題なし

#### 3 今後の対応

- ・ヒアリング前に厚労省保健医療課へ説明済み
- ・現在、厚労省側で検討中
- ・臨床整形側にて、現委員への説明等を継続
- ・「狭き門ではあるが、通過を期待」との意見で締めくくり

#### 6 次回12月の幹事・常任幹事会、第81回教育研修会事務局・村松先生より報告

- ・日時：2025年12月20日（土曜日）14:30～18:00
- ・会場：旭化成ファーマ株式会社 医薬東京支店 会議室  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目3番1号  
新宿アイランドウイング 11階
- 14:30～15:30 幹事・常任幹事会
- 15:40～15:50 製品情報提供
- 16:00～18:00 第81回教育研修会
- 18:00～ 情報交換会

・演題1

演者：吉井 俊貴先生（東京科学大学 先端医療開発学講座 整形外科学分野 教授）

演題名：「脊椎疾患の診断と治療のpitfall」

座長：→審議事項1

単位(申請中)：[7]脊椎・脊髄疾患、  
[SS]脊椎脊髄病医

・演題2

演者：宮越 尚久先生（秋田大学大学院 医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 整形外科学講座 教授）

演題名：「ガイドライン改訂に伴う骨粗鬆症薬物治療のポイントと整形外科の立場からの骨組織学研究」

座長：→審議事項1

単位(申請中)：[4]代謝性骨疾患(骨粗鬆症含む)  
[Re]運動器リハビリテーション医

7 次々回 2026年3月の常任幹事会の日程

事務局より報告

- ・日時：2026年3月16日（月）19:00～20:00
- ・形式：WEB（Zoom）開催

8 次々々回 2026年6月の幹事・常任幹事会、  
第82回教育研修会 日程、場所に関して

事務局より報告

- ・日時：2026年6月20日（土）14:30～18:00
- ・会場：A P東京八重洲通り  
14:30～15:30 幹事・常任幹事会  
15:30～15:50 総会  
15:50～16:00 製品情報提供  
16:00～18:00 第82回教育研修会 2演題  
18:00～ 情報交換会

- ・演者：→審議事項2

9 東京都支部会長交代のご報告

事務局より報告

・会長

旧 → 新

松原 正明 先生 荻田 達郎 先生  
(日産厚生会玉川病院) (東京都立大久保病院)

\*交代時期は来年4月1日

10 常任幹事退任

事務局より報告

- ・退職に伴う勤務医会退会のご希望（ご連絡順）  
・星川 吉光先生（林外科病院）

・堀内 行雄先生（川崎市立川崎病院・慶友整形外科病院名誉院長）

・大野 隆一先生（越谷市立病院）

11 新常任幹事紹介

事務局より報告

- ・水野 広一先生（総合病院上浦協同病院 整形外科部長）：2024/10月 承認
- ・鎌田 孝一先生（河北総合病院 院長）  
：2025/6月 承認

→水野、鎌田両先生よりご挨拶

12 会費納入状況の支部別通知に関する報告

事務局より報告

- ・各支部会長宛に2023および2024年度の会費状況を送付した。

13 その他

- ・2026年3月から専門医更新に試験（e-ラーニング）をパスする必要がある
- ・日整会の委員会の委員交代においては、その業務に参加してもいいという人を推薦してほしい

**【審議事項】**

1 次回 12月の第81回教育研修会 座長候補

- ・演題1：新井 嘉容先生（済生会川口総合病院）
- ・演題2：伊藤 淳二先生（栃木県医師会塩原温泉病院）  
→参加者へ意見の有無を確認の上、全会一致で承認を得た

2 次々々回 2026年6月の幹事・常任幹事会、  
第82回教育研修会の演者選定

村松先生より報告

- ・演題1  
演者：工藤 理史先生  
(昭和医科大学整形外科教授)
- ・演題2  
演題名(仮)：「脊椎関係（首下がり病関係？）」

- ・演題2  
演者：落合 信靖先生（千葉大学整形外科准教授）  
演題名(仮)：「体外衝撃波について」  
→研修委員長村松先生より演者選定の経緯が説明され、全会一致で承認を得た

3 次々々々回 10月の常任幹事会

事務局より報告

- ・候補日：2026年10月19日（月）19:00～20:00
- ・形式：WEB（Zoom）開催

→参加者へ意見の有無を確認の上、全会一致で承認を得た

#### 4 新常任幹事の推薦

- 候補者：桑沢 綾乃先生

(埼玉協同病院整形外科部長)

推薦者：鎌田 修博先生 (伊勢原協同病院院長)

- 候補者：加藤 剛先生

(市立青梅総合医療センター整形外科部長)

推薦者：新井 嘉容先生 (済生会川口総合病院)

- 候補者：池上 隆司先生

(越谷市立病院整形外科部長)

推薦者：大野 隆一先生 (越谷市立病院)

→事務局新井より各先生の推薦の経緯を説明、全会一致で承認を得た

#### 5 新幹事の推薦

- なし

#### 6 その他

- なし

### 事務局から

昭和 100 年にあたる本年 4 月 13 日から 183 日間にわたり開催された「大阪・関西万博」は無事に閉幕されました。前回の「大阪万博」は昭和 45 年（1970 年）に開催され、55 年前のことで幼少期に両親に連れられて行つてもらいましたが、私の記憶にはあまり何も残っていませんが、みなさまはいかがでしょうか。

厚生労働省の報告によれば今年 9 月 1 日現在の 100 歳以上の人口は 9 万 9763 人であり 55 年連続で増加しているようです。超長寿国である我が国は諸外国より注目されていますが、運動器の障害である「ロコモ」に対して整形外科が担う責務は重要であります。

日整会は 2026 年に創立 100 年を迎えることから、2022 年より「日整会 100 年プロジェクト」を始動しています。まだ、ホームページをご覧になつていないようであれば一度ご覧いただき、整形外科医が共通の認識を共有することでプロジェクトを盛り上げていきたいものであります。

(文責：伊室 貴)

### 事務局からのお願い

勤務先や住所に変更が発生した際には、事務局へのご連絡をお願いいたします。

関東勤務医会では、正確な名簿管理やホームページの作成および維持のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。

## 第81回 日整会認定教育研修会のご案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会および教育研修会を開催いたします。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。

### 記

日 時：令和7年12月20日（土曜日） 開始時間は下記をご参考下さい  
会 場：新宿アイランドウイング 11階 旭化成ファーマ（株）医薬東京支店会議室  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目3-1  
TEL：03-6911-3811（当日連絡先）  
(会場が6月と異なることにご注意ください)  
幹事・常任幹事会：14:30～15:30  
教育情報提供：15:50～16:00 製品情報  
教育研修会：16:00～18:00

#### 【演題I】

座長：済生会川口病院 整形外科 副院長 新井 嘉容 先生  
演題名：脊椎疾患の診断と治療のpitfall  
演者：東京科学大学病院 先端医療開発学講座 整形外科学分野 教授  
吉井 俊貴先生

必須単位：[7]脊椎・脊髄疾患、[SS]脊椎脊髄病医

#### 【演題II】

座長：栃木県医師会塩原温泉病院 整形外科 副院長 伊藤 淳二 先生  
演題名：ガイドライン改訂に伴う骨粗鬆症薬物治療のポイントと  
整形外科の立場からの骨組織学研究  
演者：秋田大学大学院 医学系研究科 医学専攻機能展開医学系  
整形外科学講座 教授  
宮腰 尚久先生

必須単位：[4] 代謝性疾患、[Re]運動器リハビリテーション医

会場費：¥1000

受講料：1題 ¥1000（単位取得者のみ）

事前にJOINTSのアプリをダウンロード後、登録をお願いいたします。  
当日の教育研修申請時には、2次元コード（QRコード）をご呈示ください。  
懇親会：講演会終了後に同会場で情報交換会を用意しております

参加事前申込先：新井 嘉容 済生会川口総合病院 整形外科

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5

TEL 0570-08-1551

共 催：関東地区整形外科勤務医会  
旭化成ファーマ株式会社

## 関東地区整形外科勤務医会 入会申込書

令和 年 月 日

フリガナ \_\_\_\_\_

御氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 昭和・平成 年 月 日

現住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

勤務先名称

勤務先住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

役職名 \_\_\_\_\_

出身大学 \_\_\_\_\_

卒業年次 昭和・平成・令和 年

出身教室 \_\_\_\_\_

入会申し込み送り先

〒332-8558 埼玉県川口市西川口 5-11-5

埼玉県済生会川口総合病院 整形外科

関東地区整形外科勤務医会事務局代表 新井 嘉容

TEL 0570-08-1551

FAX 048-256-5703

E-Mail [kanto.orth@gmail.com](mailto:kanto.orth@gmail.com)



カーボンフレーム

一般的の手術台に接続が出来、  
Cアーム等のワーキングスペースを  
最大限に確保



▲イソKMP+製品詳細サイト



株式会社 イソメディカルシステムズ

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8  
問合せ先 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 495-14  
TEL 04(7141)4021 FAX 04(7141)4022  
URL: <https://www.isomed.co.jp/>



# 望星サイエンス株式会社

『健康で快適な人生』をめざして

ともに未来を創る力に



当社は1977年の創立以来、医療機器・医療用具・医薬品・試薬など、医療現場を支える幅広い製品を提供してまいりました。社会のニーズに応えるだけでなく、「現場が求めていることは何か」を常に考え、行動することを大切にしています。知識と技術の向上を図ると共に社会に貢献する姿勢を持ち、企業としての存在意義を果たすべく、長期的な視点に立った事業展開を進めています。

医療とともに歩み、未来の“より良い社会”を創り出す一助となること。それが当社の使命であり、変わらぬ願いです。

望星サイエンス 株式会社

[本社]

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目5番14号

TEL:03(3818)6531(代) FAX:03(3814)7720

[整形特販課]

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷260番29号

TEL:046(250)4101(代) FAX:046(250)4104



<https://www.bousei.co.jp/>



 **Saccura**  
*Spinal System*

より幅広い症例で使用できるように  
新たにフックとオフセットフックが  
追加されました。  
これからも日本人に適した製品を  
提供していきます。

ナカシマヘルスフォース株式会社

〒709-0625 岡山県岡山市東区上道北方688番地1号  
TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

販売名:Saccuraスパインアルシステム(滅菌品)  
医療機器製造販売承認番号:30100BZX00100000

stryker

# Insignia® Femoral Hip Stem

インシグニア人工股関節システム

継承された伝統、  
新たなステージへ



## 実績を継承したデザイン

従来製品の特長を生かしながら、近年増加する筋温存型前方アプローチでの容易な操作性を考慮したデザイン

## ダイレクトラテラルオフセット

ハイオフセットの選択により、脚長を維持しながらオフセットだけを調節可能

## Tri-Stage™ Broach

骨形態の分析から生まれたブローチで、再現性の高いシステム設置が可能

\*本製品に関するお問合せは、弊社営業までお願いします。

医療機器承認/届出番号 営業名

30500BZX0244000 Insignia Hip ステム  
13B1X10209000001 関節手術用器械Ⅲ

Literature Number: HE09-019L  
Copyright ©2024 Stryker

製造販売業者  
**日本ストライカ株式会社**  
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 船田橋ファーストタワー  
P 03 6894 0000

[www.stryker.com/jp](http://www.stryker.com/jp)



## Persona® Knee System

No Compromise

様々な患者さんに適合するインプラントを目指して

Persona®人工膝関節システムは、術後の機能低下をより改善させるために、生体膝に基づいたアノマリカル形状にデザインされています。

- ・AP長 2mm間隔の大腿骨コンポーネント、厚み 1mm間隔のサーフェイス
- ・スタンダード及びナローサイズを含めた 21種類の大腿骨コンポーネント
- ・高い骨被覆率のための内外側非対称脛骨コンポーネント



製品名：Persona P5 セメントシステム／承認番号：225008Z000384000／椎症管理医療機器／全人工膝関節／人工膝関節 KF-2, KF-6, KF-11  
製品名：Persona CR セメントシステム／承認番号：225008Z000385000／椎症管理医療機器／全人工膝関節／人工膝関節 KF-2, KF-6, KF-11  
製品名：Persona Vivacit-E CR サーフェイス／承認番号：226008Z000189000／椎症管理医療機器／人工膝関節包着コンポーネント／人工膝関節 KF-12

【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja>にてご確認いただけます。

 ZIMMER BIOMET

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>  
〒108-0073 東京都港区三田三丁目5番19号 住友不動産東京三田ガーデンタワー 12階  
Tel. 03-4331-8600(代)

いのちの  
数だけ、  
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社  
<https://www.asahikasei-pharma.co.jp>

